

岡山外語学院

総合所見〔日本語教育機関教育活動評価委員会〕

【達成状況】

「若者達の無限の可能性を信じ、情熱を持って日々研鑽し、進化する支援者となります。」という理念に基づき、これを反映した各種規程等が整備され、教育活動が着実に実施・改善されていることが認められる。各評価項目の達成状況は、全般的に高い水準にある。

入学希望者及び経費支弁者等に対し幅広く情報を提供するため、学校ホームページを9言語で構築し、さらに翻訳サイトを用いて多言語で展開している。また、募集要項が各言語ホームページからダウンロードできるほか、各種SNSでも最新かつ多彩な学校情報が容易に入手でき、利便性が高い。

入学者の募集に関して、提携する募集代理人を学校独自の選定基準により慎重に選定している。また、可能な場合は、募集代理人主催の学校説明会に参加し、代理人の募集方法に無理な誘導や齟齬がないかを確認している。このほか、提携する現地校に教員を派遣し、留学前教育の実施や現地教員のブラッシュアップ研修等を通じ、相互に信頼を深める取組も行っている。入学者は、アドミッションポリシーに沿って、書類審査、筆記試験、面接試験により日本語能力のほか様々な角度から厳正に選考されている。留学目的や経費支弁力は入念に確認し、所在不明者の発生を防止している。

入学者の日本社会理解を促すために、学校全般、学習、生活、法令等網羅した学生便覧（7カ国版）を在留資格認定証明書とともに事前に送付し、入学時や時宜に応じて実施するオリエンテーションで使用するほか、その要点をパワーポイントにまとめ、学生の母語別に通訳を交えて指導・説明を行っている。

危機管理に関し、学生には、入学時に火災や地震時の避難経路・方法を指導している。また、教職員には、学生の急病や事故時の24時間対応マニュアルを周知徹底し、校内にはAEDを設置している。

学生支援に関し、年数回の個人カウンセリングを実施し、資格外活動や健康管理等生活全般にわたる状況把握に努め、個々の状況に応じた支援を行っている。

進路指導は、進学、就職別にきめ細かく行われている。進学希望者向けに、EJU対策や大学入試対策講座を正課外に開講し、大学院進学希望者には、専任担当者を配置し、個別に指導を行っている。また、教職員が常駐する進路指導室を設置し、資料の閲覧や個別相談に随時対応している。直近3年の進学率は77%で、毎年国公立の大学・大学院への進学者を輩出している。

教員の教育力及び支援力向上のため、学校が研修規定を制定し、研修環境を整備・充実させている点は高く評価できる。さらに、「瀬戸内日本語教師会」の牽引役として、当地の研修会の企画・運営、ネットワーク作り等を担い、中国地方の日本語教育の発展に貢献している。

また、近年、学内に地域貢献を担当する部署を設け、学生・教職員の地域参加を推進している。川の清掃活動や地域のイベントにおける地域住民との交流は、学生の日本社会理解、住民との相互理解、多文化共創社会につながる取組として大いに評価できる。

【課題・改善要望等】

法定の時間を超過してアルバイトに従事する学生が発生したが、早期に対応しており、入管からの特別の指導を受けることはなかった。引き続き資格外活動違反が発生しないよう取組を続けることが望まれる。また、さらなる教育活動の改善を目指して、教員が自身の授業を内省するための材料を増やすことを提案する。例えば、授業記録や学生アンケート等、現行の書式を見直すだけでも、内省の材料が得られるものと思われる。